

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月1日

事業所名 しあわせ駅 終塚

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		活動に応じてスペースを使いわけている。	利用児童が走っても安全なように家具の配置を考えて工夫し、今後改善点がないか意見を取り入れ行っていく。
	2	職員の配置数は適切である	4	2			配置基準は満たしているが、指導員同士休みが重なったり急な休みが出た場合でも対応しやすい人数を確保する必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			5	1	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	4		業務改善のためのミーティングを随時行っている。	今後さらに明確な目標設定と振り返りを強化していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		アンケート調査は定期的に実施している。	今後も保護者様の意見を積極的に取り入れ、業務改善ができるように努めていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4	1	ホームページにて公開している。	今後周知徹底していきたい。デイ日よりや会報でも公開していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	1		今後、行なっていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3			コロナの影響で、学校休校により朝から利用する児童がいることが多く、また感染予防の観点から研修に参加する事が難しかった。今後は、研修の機会を出来る限り確保できるよう努めていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2			保護者、児童の思いを受け入れながら、無理がないようスモールステップで成長につながる支援を今後も心がけていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		規定のアセスメントシートを利用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		活動内容を話し合いプログラムを決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	1	月1回職員ミーティングを行い、活動を決めている。	プログラムが固定化しないようさらに工夫をしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		季節ごとの活動内容を取りくんでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	4		児童の特性を理解し無理がないようスモールステップを心がけていく。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1			朝の朝礼、申し送りファイルを確認し、役割分担を行いながらスムーズに対応していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			5	1	18:00～の送迎児童や送迎後の業務がある為、その日に必ずしも打ち合わせは行えてはいないが、申し送り用紙やLINE等を活用し、情報共有をしている。今後も工夫を重ね、情報共有に努めていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		記録は、徹底して行っている。支援計画や評価につなげている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			定期的なモニタリングは実施できており、その際、見直しの判断もできている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1		ガイドラインの総則を参考にしている。	支援活動の幅を広く組み合わせるよう改善を重ねていく。	
関係機関や保護	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児発管やその子どもの状況に精通した職員の参加ができています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	3		学校の年間行事や振り替え休日等を確認し、職員の出勤時間を調整している。トラブル時は連絡を取れるよう対応している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	3		医療的ケアが必要な児童は現時点では受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	2		今後も保護者様と連携して取り組んでいく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	1		事業所を卒業後、他の事業所に移行はせず一般就職をしている(現在)。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	3		コロナの影響により、研修等が受ける事が出来ていない。今後、検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	2		コロナで交流は難しい。コロナが落ち着いたら、検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	3		現在、参加できていない。コロナが落ち着いたら、検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2		児童の様子を連絡帳や送迎時に保護者様にお伝えするようにしている。	共通理解が深められるよう今後、さらに工夫していきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	1		ペアレント・トレーニングに限定するとまだ実施していないが今後検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に行なっており、丁寧な説明を心がけている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		保護者様とのコミュニケーションを常に大切に、相談や適切な助言を行なうよう努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	1		現在、感染予防の為、交流会等のイベントは行えていない。今後、時期を見て検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情がある際は、迅速かつ適切な対応をするよう心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			毎月のおたよりで活動内容等をお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	6			児童の写真などを掲載する際は、保護者様から同意を得て行なうなど個人情報には十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		1	その日の出来事を連絡帳やメール、送迎時にお伝えするようにしている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	2		コロナの影響で、イベント等は中止した。コロナ終息後に検討していきたい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		月1回のミーティングにより、午前中勉強会を行っている。	今後は、周知徹底に力をいれていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			コロナ期間により消防の立ち合いはできなかったが避難訓練・災害訓練はきちんと行った。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		虐待防止の研修はできる限り実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3	1		現在、身体的拘束の必要な対象児童はいないが、今後対象児童がいた場合は、事前の説明や了承、計画書への記載が必要な旨は理解している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4		契約時にアレルギー等の確認は保護者の方に確認している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2		その都度、ヒヤリハット報告書は記入し情報共有を行っている。	事例集は、本社にて現在作成中である。	